

「美術科」学習指導案

1. 日時 平成 26 年 6 月
2. 場所 工芸室
3. 対象 高等部
4. 単元名 「西洋の美術と文化を学ぶ」
5. 単元目標
 - ・美術文化について理解を深める。
 - ・すぐれた芸術作品にふれ、技法を学ぶ。
6. 生徒観 略
7. 教材観

ピカソの絵の中から、モデルが存在する作品を選び、どのモデルを描いたものか考える課題、絵画の中から指定した形を探す課題、二つ並べて間違い探しをする教材を選び、楽しんで絵画を見る体験をする。作品を人数分拡大コピーして用意し、時間をくぎって集中できるようにする。その後、ピカソの生涯を文章で読み、制作風景を鑑賞し、心に残ったことを振り返りシートに記入させる。その後、ピカソの模写に取り組む予定である。

8. 指導観

気軽に取り組める課題を数種用意して、活動を通して絵画作品を鑑賞するようにする。教員や生徒同士話し合いながら、取り組める課題を用意する。絵画鑑賞が堅苦しくなく、楽しいものだということを伝えたい。生徒の興味を引き出すように、楽しみながら鑑賞できるようにすすめる。作品のコピーが見やすいように拡大したり、画板を使って固定したりと、それぞれにあった支援を行う。途中に5分間の休憩をとることにより、前半と後半をくぎって、集中を途切れさせないようにし、休憩時間にそれぞれ自分の考えを友だちや教員に伝える時間を確保する。

9. 単元の評価規準

美術への関心・意欲・態度	美術への理解	美術表現の技能
・学習内容に見通しをもって取り組むことができる ・作品に興味をもって鑑賞することができる	・作品から作者の意図を読み取る視点をもつことができる ・作品を大切に思う気持ちを持つことができる	・技法を学び、自分なりの方法で表現することができる ・混色して、作品と同じ色を探すことができる

10. 単元指導と評価の計画（全2時間）（本時は1時間目）

次	時	学習内容	評価規準		
			美術への 関心・意欲・態度	美術への理解	美術表現の技能
第一次	1 (本時)	・ピカソの絵画鑑賞 ・生涯や制作風景を知る	○	○	
第二次	2	・ピカソの絵画鑑賞 ・好きな絵を選び模写する	○		○

11. 本時の展開

（1） 本時の目標

- ・作品を鑑賞し、課題に対する答えを出す
- ・ふりかえりシートで、自分の意見を書く

（2） 本時の評価基準

- ・学習内容に見通しをもって取り組むことができる。【美術への関心・意欲・態度】
- ・課題に集中して取り組むことができる。【美術への関心・意欲・態度】
- ・作品から作者の意図を読み取る視点をもつことができる。【美術への理解】
- ・感想文で自分の意見を書くことができる。【美術への理解】

（3） 本時で扱う教材・教具

- ・大型テレビ、パソコン、ピカソの絵（絵本より）、ピカソ制作風景のビデオ
- ・ピカソの生涯に関するプリント、ふりかえりシート、鉛筆

（4） 生徒の実態と本時の目標 略

（5） 本時の学習過程

	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
導入 (10分)	1. 挨拶・出席 2. 今日の流れを確認する ① プリントを受け取る ② 予定の確認	T 1 ・前で挨拶する ・見通しをもたせる T 2～4 ・各生徒の横で挨拶し、予定を確認するよう促す	

展開① (20分)	1. この絵のモデルは誰だ？ ・大型テレビに映し出された写真を見て答える ・わからなければ、周りの生徒や教員と相談する 2. 間違い探し ・二つの絵を見て間違い探しに答える 3. 図形探し ・絵の中に隠された丸・三角・四角を探し出して答える	T 1 ・できるだけ多くの生徒に意見を言うようことば掛けする ・困っている生徒にはヒントを与える T 2～4 ・各生徒の横につき、生徒が主体的に答えを探すよう促す	・学習内容に見通しをもって取り組むことができる。【美術への関心・意欲・態度】 ・課題に集中して取り組むことができる。【美術への関心・意欲・態度】
休憩 (5分)	教室の中で休憩する	リラックスさせ、後半の集中を高められるよう促す	
展開② (15分)	1. ピカソの生涯を学ぶ ・プリントを見る ・どんな人だったかを知る 2. ピカソの制作風景を見る ・大型テレビでビデオを見る	T 1 ・前でプリントを解説し必要なところを音読する機会をつくる ・わかりやすい言葉を選び理解を促す	・作品から作者の意図を読み取る視点をもつことができる【美術への理解】
まとめ (20分)	1. ふりかえりシートの記入 ・心に残ったことを書く ・疑問に思ったことを書く 2. 片づけ 3. 挨拶	T 1 ・今回の授業で心に残ったところを書くように指示する ・ティームティーチャーにビデオを見ての感想を言ってもらうことで、生徒が心に残ったことを発表しやすいよう促す ・プリント回収する T 2～4 ・各生徒が書いているか確認。書けずにいる生徒がいれば話を聞く	・感想文で自分の意見を書くことができる。【美術への理解】

(6) 教室配置 略

*備考

◇当該教科・領域の年間指導計画 略